



# 日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和5年 7月21日

第 5 号

さいたま市立日進中学校

TEL 048-663-1251

FAX 048-663-0834

## 『2つの約束』

校長 小熊 誠

本日で1学期が終了しました。始業式から生徒たちが学校に登校したのは、70日間でした。保護者・地域の皆様のおかげ様をもちまして何とか大きな事故もなく、終業式を迎えることができました。ありがとうございました。暑い日々は続いています、生徒たちの笑顔は、照り付ける太陽の輝きにも勝る輝きを放ち、私たちに元気を与えてくれています。先日終了した2年生の「未来くるワーク」でも、皆様の御協力のもと、生徒たちは生き生きと活動し、笑顔をさらに磨くことができました。日進の“中身”である2年生、きっとさらにいい味をだしてくれると思います。県大会や各種コンクールも始まっています。この夏も、日進の前進にどうぞ御期待ください。

さて、明日からは、38日間の「夏休み」が始まります。たかが38日と侮ってはいけません。この「夏休み」の過ごし方は今後の中学校生活、もしかしたら人生に大きく影響してくるかもしれません。そこで、本日生徒たちと終業式で『2つの約束』をしました。

1つ目の「約束」は、家族で「話し合い」をすることです。皆様是非、お子様としっかりと向き合って「話し合い」を実行してみてください。一方通行の「話し」ではない「話し合い」です。そして次の2つのテーマに挑んでみてください。一つは「夢・進路」です。私も昨年中3だった息子に挑みました。「お父さんとお母さんを見ていて、先生にはなりたくない」・「どの高校にいってもお父さんの監視カメラがあるようだ」と言われ、大ショックでした。しかし、その時点の息子の本音に触れることができ、家族で納得のいく進路を選択できました。2つ目は「SNS」です。我が家の携帯のパスワードは親子3人一緒です。まだ、息子はパスワードを変えようとは言ってきません。しかし、私や、母親の携帯を見ようとはしなくなってきましたし、自分の携帯を見られることにイヤそうな素振りを見せることが多くなってきました。便利なものには、トゲもあります。家族の生活が大きく変化する可能性もあります。この夏、我が家の大きなテーマとして、しっかりと向き合っていく所存です。

2つ目の「約束」は、「決めたことをやり切る」ということです。剣道少年だった私の中学2年の「夏休み」の話です。私は、中学1年の7月に足を負傷してしまい、その後約9ヶ月間、剣道はもちろん体育さえもまともにできない状態となってしまいました。当然、団体戦のメンバーからも外れ、「大好き」だった剣道からも逃げ、部活もサボりがちになっていました。しかし私は、どうしても剣道を、あの試合の感覚を忘れられないでいました。そこで、最後の勝負をかける夏にしようと、自分自身に試練を与えることにしました。練習以外に素振り5,000本を目標に掲げました。「この目標が達成できたら、『やり切れたら』また剣道を『大好き』になれるはず」そう思い込ませ、来る日も来る日も竹刀を振り続けました。結果私は、10,000本を達成し、豆だらけの手と充実感、そして大きな自信を手に入れることができました。私の手を見た顧問から団体戦の大将を任されました。この時から初めて仲間に、「俺にもってこい！」と自信をもって言えるようになりました。私の転機となった、もしかしたら人生の転機となった「夏休み」です。

今回は、恥ずかしながら私自身のプライベートの話を載せました。たかが「夏休み」、されど「夏休み」です。まずは、家族でしっかりと向き合い、家族の思いと方向性を合わせることです。そして、置かれた場所や、目標も違う生徒たち。当然「やり切る」ことも千差万別です。しかし、きっと何か勝負しようとしています。どうぞ皆様の温かい声かけや、御支援をよろしく願います。生徒たちの「メガ進化」が楽しみです。

私共教職員一同、8月29日の始業式に笑顔で登校する、自信に満ち溢れ、一回り大きくなった生徒たちの姿を楽しみにしています。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校

SNSによるいじめをなくすために大切にしたいこと(指針)

We Can Do It! みんなでつくる優しい環境

- 1 SNSの危険性を理解し、家族でルールを決めよう!
- 2 ひとりでは悩まず「SOS」で理解しよう!  
(S:先生 O:大人 S:相談窓口)
- 3 相手のことを考えて、自分の気持ちが伝わるメッセージを発信しよう!
- 4 SNSを正しく使うことができる、仲間づくりをしよう!

平成30年度さいたま市子ども会議  
令和元年度さいたま市子ども会議